

2025 年度事業計画

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団
施設名 恵生園
施設長 大橋 幸司

恵生園、グループホームめぐみの基本方針

1. 私たちは ご利用者の人権を尊重し自ら選んで決めていただけるサービスを提供します。
2. 私たちは ご利用者が生き生きと喜びをもって生活できる施設を目指します。
3. 私たちは 自ら率先して話し合える職場づくりに努めます。
4. 私たちは 街の声に応え 地域に貢献できる施設を目指します。

放課後等デイサービスめぐみの基本方針

1. こども達一人ひとりの個性を大切にし、豊かな育ちを支えます
2. こどもと保護者に寄り添い、成長を喜び合うことができる施設を目指します
3. こども達の未来のために、地域に愛される施設を目指します

第5 期中期計画のビジョン

私たちは、多様化する利用者の障害特性に応える為の対応力を身に付け、利用者一人ひとりが生活しやすい施設作りを目指します。

2025 年度の事業計画について

第5 期中期計画の最終年になりました。昨年度は、大きな感染症のトラブルもなく、少しずつですが、ご利用者のニーズに沿った外出や、外部の方を招いた行事などの実施ができました。今年度は、ニーズの多い外出支援として、日帰り旅行などコロナ化で自粛していた活動の復活や、家族が参加できる行事の緩和などに向けて、積極的に目標を定め計画の策定をいたしました。

学習と成長の視点として、昨年度はリーダーを配置し育成に取り組んできましたが、さらに育成を推進するために、主任・副主任と一般職員と一緒に、現場の課題を解決する取り組みを通し、中堅一般職などの更なる育成を目指します。

顧客の視点として、昨年度より安全最優先のサービスを継続し推進してきた中で、業務改善委員会の課題でもあった、重度高齢化のご利用者が自施設で生活が困難になった場合の対応として、法人内施設と連携し安心安全な施設へ転所できるシステムを構築します。

財務の視点として、積極的に定員の確保を目指します。広範囲での利用者募集を積極的に実施します。また、視覚聴覚の障害を持たれた方の確保や、法人内施設との連携を密にし、他施設からの入所希望があれば積極的に受入れます。その他として、「グループホームめぐみ」や「放課後等デイサービスめぐみ」のご利用者や子どもたちが製作した作品などを、積極的に「あったかプラザ」の展示コーナーで作品展示を実施し、地域の方々に作品の鑑賞を通して、地域と施設の繋がりを深めてもらう取り組みを実施します。また、ヒヤリハット・事故に対し、再発する内容を事故検証委員会にて、確実な歯止め対策を実施します。接遇の向上として、各研修へ全職員が参加できる環境を整備します。また、全体集会や朝礼などで、地の塩伝道所の牧師による、ご利用者・職員がキリスト教福祉や法人基本理念などを学ぶ場を提供します。

1. 事業概要

開設年月日：1976年6月1日

種別（定款）	事業名	定員	主たる対象者	事業開始年月日
障害者支援施設（第1種）	施設入所支援	60名	身体・知的障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	生活介護	60名	身体・知的障害者	2008年4月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	短期入所	3名	身体・知的障害者	2006年10月1日
相談支援事業（第2種）	特定相談支援	—	障害者	2013年3月1日
	障害児相談支援	—	障害児	2022年4月1日
公益事業	介護予防等拠点事業（あったかプラザ）	—	—	2003年10月1日
障害福祉サービス事業（第2種）	共同生活援助	6名	身体・知的障害者	2021年4月1日
障害児通所支援事業（第2種）	放課後等デイサービス	10名	障害児	2021年4月1日

2. 第5期中期計画と推進策

(1) 学習と成長の視点

重点実施項目	実行計画	2025年度計画	目指す成果
新規雇用者の確保と離職予防	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる機会を活用した職員採用 年間を通じたフォローアップ面談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①採用活動の実施 ②職員面談の実施（2回/年） 	適正な職員確保と職場定着
管理職と現場職員のコミュニケーション充実	支援現場の抱える課題についてのミーティング実施	<ul style="list-style-type: none"> ①支援ミーティングの実施（毎月） ②支援現場が抱える課題の把握と対応 ③他施設の見学研修の実施 	何でも相談できる風通しの良い職場環境 他施設の強みを自施設の業務改善に反映
基礎的な介護技術の習得	介護技術力向上のための研修受講と内部研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ①研修の情報収集 ②施設内外の研修の受講 ③内部（伝達）研修の実施（毎月） 	児童の療育支援、利用者支援、介護力、相談支援の向上
接遇の向上	接遇力アップのための研修受講と内部研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ①研修の情報収集 ②施設内外の研修の受講 ③内部（伝達）研修の実施（毎月） 	満足度調査における接遇力の評価向上
職員レベル（経験・技術）に応じたOJTの仕組み構築	段階（経験・技術）を経たOJTの仕組みを作る	<ul style="list-style-type: none"> ①OJTマニュアルの更新 ②経験豊富な職員によるOJT職員の育成 	OJTができる職員が増え、育成に対する意識の向上と支援の底上げ

(2) 業務プロセスの視点

重点実施項目	実行計画	2025 年度計画	目指す成果
役割を明確にした職員の育成	OJT を通じて中堅職員を育成し、主任をサポートできる人材を育成する	①主任副主任を中心とした中堅職員の育成 ②各関係会議の運営を通じて、中堅職員を中心とした支援現場の課題への取り組み	業務プロセスの最適化とチーム全体の成長と連携強化
高齢化・重度化に対応した環境設備の整備	居住環境向上の為の環境設備整備実施	①各ご利用者の ADL に合った環境整備の実施 ②必要な設備の設置、用具の購入と活用	より安全安心なサービスや生活の提供

(3) 顧客の視点

重点実施項目	実行計画	2025 年度計画	目指す成果
支援体制見直しによる安全最優先のサービスの提供	業務改善委員会を中心に現状の支援体制を見直す	①安全な支援体制の構築 ②業務課題の改善 ③法人内の連携施設と情報共有し、重度高齢化の著しいご利用者の転所を調整	安全かつ自立が維持できるサービスの提供
業務内容見直しによる利用者個別支援時間の確保	利用者個々に応じた支援マニュアルの作成	①個別支援マニュアルの更新と把握 ②マニュアルに沿った個別支援の実施	利用者個別支援の充実
データ分析・検証による頻回に起こるヒヤリハット・事故の予防	ヒヤリハット・事故報告をしっかりと分析し、頻回に起こるリスクを予防する	①事故発生防止会議の実施(毎月) ②事故発生防止会議で得たデータを分析し、頻回に起こるヒヤリハットや事故に対する防止策を実施	事故・ヒヤリハット件数減
満足度調査を反映したサービスの提供	満足度調査の結果を分析し、調査結果をサービス提供に繋げる	①満足度調査の実施(1回/年) ②調査結果の分析と対応策の検討と実施 ③日帰り旅行等の実施	利用者満足度アップ

(4) 財務の視点

重点実施項目	実行計画	2025 年度計画	目指す成果
利用定員維持による安定した事業収入の確保	利用定員を維持し、入所待機者を確保する	①自施設や近隣の相談支援事業所、行政、視覚聴覚障害者の関係事業所への情報収集（毎月） ②短期入所利用者を積極的に受け入れ、入所待機者を確保	予算計上する事業活動収入の達成 視覚聴覚言語障害者支援体制加算取得の維持
収支を意識した啓発活動推進によるコスト削減	光熱水費のコスト削減に向けた取り組み実施	①巡回による不要な電気使用の削減 ②適正な電気機器使用の啓発	使用量（対前年比5%減）の達成
計画的な積立金の計上	機能維持等に必要積立金確保	①利用定員確保による収入の維持 ②光熱水費削減対策による支出の減少	積立目標額（2000万円）の達成

(5) 地域公益の視点

重点実施項目	実行計画	2025 年度計画	目指す成果
地域との連携強化	「あったかプラザ」や「めぐみ」での行事を企画し交流を深め、地域との連携を強化する	①「あったかプラザイベント」の実施 ②「めぐみ」の見学会や体験会等の計画と実施 ③「GHめぐみ」にて地域連携推進会議の実施	地域との積極的な交流を通じた連携強化
地域ニーズへの対応	地域の方のニーズに応じた具体的なサービスにつなげる	①「あったかプラザイベント」の実施 ②あったかプラザの展示コーナーで地域の方々が作られた作品を展示 ③あったかプラザで「GHめぐみ」「放デイめぐみ」のご利用者や子どもたちが制作した作品を展示	地域や近隣施設の方々が、自由に作品展示できる場の提供を通じて、地域とより深い繋がりや信頼関係を構築